

# 城東区 社会福祉

発行所  
社会福祉法人  
大阪市城東区社会福祉協議会  
発行人  
駒井信義  
編集  
広報福祉部  
大阪府城東区中央3丁目4番29号  
城東区役所内  
電話 (932) 1351  
題字は駒井区社協会長

# 謹賀新年

## みんなの力で生きがいのある街 地域社協の育成強化を

社会福祉法人 大阪市城東区社会福祉協議会  
会長 駒井信義



皆様あけましておめでと  
うございます。

昭和五十七年の年頭にあ  
たり、皆様方には、ますま  
すご健勝で、輝かしい新春  
をお迎えのことと心からお  
よろこび申し上げます。

平素は当城東区社会福祉

あけまして、おめでと  
うございます。  
皆様には、またあらたな  
希望の中に、すがすがしく  
新年をお迎えのことと心か  
らお喜び申し上げます。



解とご協力を賜わり、お  
かげをもちまして区政もき  
わめて円滑に進展をみている  
ところであります。衷心  
より感謝申し上げ厚くお礼  
申し上げます。

顧みずと昨年は、流動  
する国際環境の中で、我が  
国の経済情勢は依然として

経済社会の変動とあわせ、  
国民生活と意識の変化に伴  
う様々な生活問題が課題と  
して提起される訳でござい  
ます。  
年金制度の充実、経済給  
付の内容改善によりまして  
予防的サービス、専門的ケ  
ア、在宅ケア、福祉増進サ  
ービス等の在宅福祉サービ  
スの提供へとニーズが変化  
してまいっております。  
従いまして、今日社協に  
求められている社会福祉ニ  
ーズに答え、在宅福祉サー  
ビスを推し進めていくため  
に各人が住んでいる地域社会  
のなかで、各種の社会資源  
を整備、活用して対処する  
ことが必要であります。

## 社協大会を契機に 幅広い活動を

城東区地域振興会長 吉田定治



謹んで新年の御祝詞を申  
しあげます。  
平素は、当城東区地域振  
興会に對しまして、会長さ  
んをはじめ、役員の方々に  
方並びに会員の方々に、暖  
かいご協力とご支援をいた  
さされました中で、記念す  
べ設立三十周年を迎えられ  
盛大な記念式典も催され  
いよいよの発展への地歩を  
築かれたのであり、また折  
しも、駒井会長様には、秋  
の叙勲においでさわめて著  
れたかい、勲三等旭日中級  
章ご受章の栄に輝やかれた  
ことと、

## 時代にふさわしい施策を 社会福祉充実進展

城東区長 南修

学校・公園・道路・下水等  
生活環境の整備も、皆様方  
のご協力によりまして着々  
と進んでまいりましたし、  
地域社会におきましても、  
区内各団体がそれぞれに一  
層充実進展を続けられる中  
で、社会福祉に、地域振興  
に、あるいは文化、体育活  
動にと、区民各位の熱意と

は国際障害者年として、完  
全参加と平等のテーマのも  
とに、その啓発等に多大の  
ご尽力を賜りましたことを  
はじめ、区を挙げた青少年  
健全育成政策への積極的な  
ご参加、また共同募金や硬  
貨募金など、地域社会福祉  
協議会なども、きわめて  
意義深い幾多の活動を展開  
して、

のでありまして、私どもに  
とりましてこのうえない  
喜びであり、共に喜びを思  
う忘れ得ぬ年となったこと  
ろでございませう。  
新しい年が、また期待に  
満ちた展望のひらける年で  
ありますよう祈るのであり  
ますが、二十一世紀にむか  
って、文化の時代、心の豊

これはとりもなわず地  
域社協の育成、強化をはか  
る地域組織化活動と平行し  
た取り組みの中で具体化さ  
れるわけで、その地域で、  
福祉の問題が住民自身にと  
って明らかになって、みん  
な生活ができる町をみんなの  
力で築いてゆきたいものと  
念願している次第でござい  
ます。  
皆様方の暖かいご支援に  
よりまして、期待される福  
祉社会の実現をめざして活  
動してまいり所存でござい  
ますので一層のお力添えを  
お願いいたしまして、新年  
のごあいさつといたしま  
す。

## 成人の日 のつどい



暗れて成人式を迎えられ  
るみなさんの新しい人生の  
門出をお祝いして、成人の  
日のつどいを開催します。  
◎とき 昭和五十七年一  
月十五日(祝)  
午前十時  
◎ところ 城東区民ホール  
(九三二二二  
〇〇〇)  
◎内容 第一部 記念式典  
第二部 テーマ  
「みんな  
で」  
「みんなで  
楽しく」  
出演 大阪市立城陽  
中学校吹奏楽部  
城東区役所社会教育係  
九三二二二一三五一

お問合わせは、  
城東区役所社会教育係へ  
九三二二二一三五一

## 心のふれあう 町づくりを目指して

城東区婦人団体協議会長 中津政子



謹んで、新春をお慶び申  
し上げます。  
旧年中は、私どもの婦人

だまだ眠っている婦人の潜  
在能力を開発して、少しで  
も明るい地域社会の建設に  
寄与できればと願っており  
ます。自分たちの足もとを  
固め、心ふれあう町づく  
りを目指して、今年一年、皆  
様と共に、区婦協も一歩進  
んで参りたいと思っております。  
この一年、区連婦人の  
「十年」を生かしていかなく  
ればと決意しております。  
今日、婦人の生活周期も  
変化して参りましたし、ま

おかげをもちまして、当  
会の各種の事業も順調に進  
展しておりますことを厚く  
お礼申し上げます。  
城東区社会福祉協議会は  
結成以来は三十年を経過  
いたしました。その間会員  
各位には、自己の職業をも  
犠牲にして社会福祉の向上  
に多大の成果をあげてこ  
れましたことは、私ども深  
く感謝いたしております。  
また、従来の福祉は、画  
一的な手当の支給や、施設  
の整備にとどまっていた  
が、これからは、もっと  
人間らしいのかかわりの中  
に、福祉施策の展開を見  
たいと思っております。  
また、皆様のご苦勞には、心  
から敬服申し上げていま  
す。  
また、昨年の十一月二十  
八日城東区民ホールにお  
いて開催されました三十周年  
記念大会では、この激動す  
る社会情勢の変貌に即応し  
た活動方針を、新たな決意  
をもって宣言されました。  
これに對し私ども何より心強  
さをおぼえたのでありまし  
て、その意氣に對し、敬意  
を表しますとともに、今後  
皆様が一一致協力され、児童  
福祉、青少年対策、安心し  
て暮らせる老後づくり等、幅  
広い実りのあるご活躍をご  
期待申し上げるものであり  
ます。  
最後に参りましたが、城  
東区社会福祉協議会の今後  
ますますの発展と皆さま  
方のご健勝とご多幸をお祈  
りいたしまして私の新年の  
お祝いのことはとさせていただきます。

# 城東区社協創立30周年記念大会

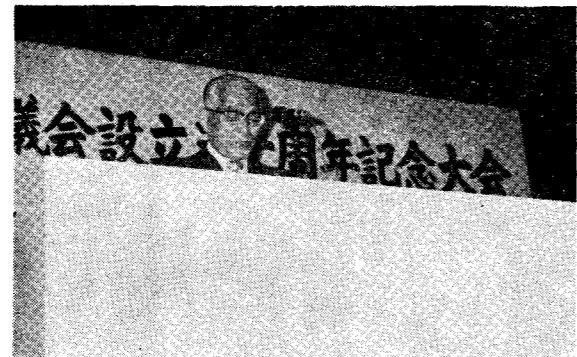
## 法人設立5周年 11月28日盛大に開催



### 駒井会長 栄えある受章

昨年十一月十一日、駒井会長が、勲三等旭日中綬章を受章されました。これは、永年にわたりボランティアとして民間社会福祉事業に関し、業績著明の功労者として、さらに、全国行政相談委員連合協議会会長の要職にあつて、会の隆盛に貢献した功績絶大なことにより受章されたものであります。

主な役職  
全国行政相談委員連合協議会会長、全国社会福祉協議会副会長、中央共同基金協議会会長、府・市社会福祉協議会会長、その他(民生委員、保護司等)



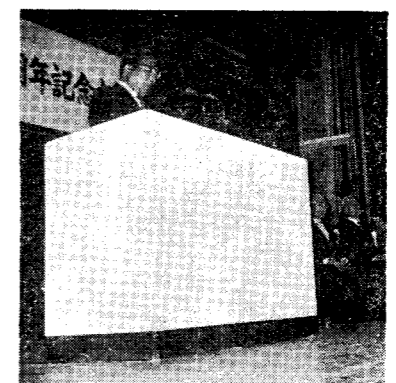
経過報告 (會橋常務理事)



駒井会長あいさつ

昭和二十六年一月二十九日、城東区社会福祉協議会が発足して三十周年、昭和五十一年八月六日、社会福祉法人の認可を得、五周年をむかえた昨年、国際障害者年でもあり、当社協では、国際障害者年ブラスターとして、障害者の完全参加と平等を願う区民に啓発しました。さて、十一月二十八日、

十一月二十八日、城東区民ホールで、城東区社会福祉協議会設立三十周年記念大会が行なわれました。第一部式典にさきだち、区社協の発展に尽力され、思いなかに物故された方々のご冥福を祈りました。第一部は、式典、第二部は、国際障害者年を記念して、障害者のりこえ、青春を謳歌する姿をえがいた映画「典子は今」を上映しました。



府・市会議員代表(藤田重春氏)あいさつ

して表彰状、感謝状と記念品を駒井会長より贈呈。そして、米賣の市助役、城東区長、区内選出府・市会議員代表からお祝いのことがありました。次に、中津副会長(城東区婦人団体協議会長)が大い宣言を述べたあと、社本会計理事が、今後の社協の発展を祈念して閉会のことばを述べられました。

### 表彰者

(順不同・敬称略)

- 諏訪 林みね子、児玉 将子、垂水 嘉茂、大下 重吉、藤田 竹三郎、浜本 嘉代子
- 中浜 辻一郎、芝村 義男、高橋 栄子、布谷 与三郎、安田 嘉男、志磨村 健二
- 東中浜 宮口 好友、渡辺 ウタ子、川口 晴子
- 城東 上田 純太郎、池田 千代、川田 ユキミ、松山 憲文、勝田 好三郎、豊倉 みどり
- 駒野 大野 護、大高 博、植田 美佐子、中平 チヨ子、山本 スエノ
- 聖賢 近越 信三郎、安田 栄蔵、吉岡 正夫、小田 潤一、井上 金一、小田 潤一
- 今福 田中 康広、大井 収、寛 修三、能美 末利

### 感謝状

(順不同・敬称略)

- 贈呈者 伊藤 久江、草 結作、森 辰弥、金子 幸生、立 藤、大野 尊之、樽井 静江(故人)、天野 一弘、第一信用金庫第一クラブ、西沢 ヒロ子、押立 宗光、松葉 捨吉(故人)、松葉 幸夫、矢部 良治、タカラ スタンド、駒井 信、大坂城東ライオンズクラブ、大阪城東ライオンズクラブ、城東観光遊技業組合、松波 哲正
- 贈呈者 伊藤 久江、草 結作、森 辰弥、金子 幸生、立 藤、大野 尊之、樽井 静江(故人)、天野 一弘、第一信用金庫第一クラブ、西沢 ヒロ子、押立 宗光、松葉 捨吉(故人)、松葉 幸夫、矢部 良治、タカラ スタンド、駒井 信、大坂城東ライオンズクラブ、大阪城東ライオンズクラブ、城東観光遊技業組合、松波 哲正

### 経過報告

城東区社会福祉協議会は法人格を得てから五年が経過しました。その間、各種団体との連絡調整及び助成をはじめ、共同募金事業への協力、硬貨貸付運動、敬老月間運動等、順調におし進めてまいりました。また、善意銀行より、昭和五十二年七月に生活保護家庭の小・中学生に運動靴を、昭和五十三年一月には高齢者の方に電気毛布、昭和五十五年三月には、大阪協の育成をも合せて今までの市へ災害救助用人体模型を寄贈しました。そして、今年、国際障害者年として障害者の完全参加と平等を願ってポスターを作成し区民に啓発しました。わけても、昭和五十三年三月に実施した老人生活実態調査は、高齢化社会が急速に進んでいる今日、老人は多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として健全で安らかな老後をおくることができ、老後対策の資料として実施しました。これら活動は、今後の法人社協としての事業活動充実に向けて大きな成果となつてまいりました。また、社会福祉事業が従来の個人救済のための慈善事業から脱皮して地域住民への福祉にわたる地域中心型福祉へと移行した今日、福祉切りに伴う諸問題をかかえ、より一層地域福祉の向上に努めなければならぬ。一地域福祉・在宅福祉サービス」の展開など、地域福祉の育成をも合せて今までの市へ災害救助用人体模型を寄贈しました。そして、今年、国際障害者年として障害者の完全参加と平等を願ってポスターを作成し区民に啓発しました。わけても、昭和五十三年三月に実施した老人生活実態調査は、高齢化社会が急速に進んでいる今日、老人は多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として健全で安らかな老後をおくることができ、老後対策の資料として実施しました。これら活動は、今後の法人社協としての事業活動充実に向けて大きな成果となつてまいりました。また、社会福祉事業が従来の個人救済のための慈善事業から脱皮して地域住民への福祉にわたる地域中心型福祉へと移行した今日、福祉切りに伴う諸問題をかかえ、より一層地域福祉の向上に努めなければならぬ。一地域福祉・在宅福祉サービス」の展開など、地域福祉の育成をも合せて今までの市へ災害救助用人体模型を寄贈しました。



受章風景

### 大会宣言

社会福祉をとりまく情勢は一段とむしきを増し、激動の波が打ち寄せている。われわれ社会福祉関係者一同は、今日の厳しい社会情勢をふまへ、各分野と協力し、福祉後進を切り捨てを阻止し、区民の生活改善向上に努めるとともに、地域社会の福祉増進に寄与し、区民の信頼と期待に応えることを宣言する。



A-0020 1982 国際障害者年 シンボルマーク

# 1981年から10年間 国際障害者年

## 口話法・手話法・筆記法で会話を 白い杖は見えない人の眼

- 一、挨拶するとき、見えない人の方から先に声をかけてください。次いで握手をしてください。それによって、相手はあなたの身長その他もろもろを察知して親近感をもちます。
- 二、目の不自由な人の中には、全盲と弱視の人がいて、お手伝いの必要はそれぞれにちがいます。何か必要かを卒直に聞くことが大切です。
- 三、街角で白い杖の人が立止って考えこんでいるのは、方角がわからなくなつてしまったときに多い姿勢です。方角や場所を覚えてあげるときは、左右、前後とか、何歩、何メートルの所と正確に言うてください。
- 四、案内するとき、白い杖の反対側に立って杖を貸し、見えない人の半歩前を歩きます。白い杖は見えない人の眼です。それを手を持つ手をつかんだり、引いたり、押ししたりすることは厳禁です。
- 五、階段やエレベーターでは、上がり下りるかをはっきりと説明することが大切です。
- 六、お茶や食事のときは、最初並べられた食器などの位置と内容を小声ではっきり説明してください。物の位置は、時計の針の位置で言う方がよい。(これは食事のときにかぎらない) 人によっては、手で触れて確認するお手伝いも必要です。
- 一、耳の不自由な人といってもさまざまです。全く聞こえない人、難聴の人。事故や病気できこえなくなった人は話せませんが、生れつきは障害者の人は言葉が不自由です。二、意外と知られていないことですが、きこえない人には話好きな人が多いです。話す意思さえあれば、方法はいろいろあります。まず、心を開いて話しかけてください。三、きこえない人の会話の方法には、まず、口話法があります。これは、現在、随学校で教育しているもので、口の動きを読みとる方法です。ジュエツチアを交えながら、正面から、口をやや大きく開いて、はっきり、ゆっくり話してください。四、手話法は、きこえない人たちの間で自然発生的に生まれた手まね身ぶりの会話法です。最近では、あちこちで手話講習会が開かれていますので、機会をみつけて手話を学んでください。五、筆記法は、手のひらや紙に文字を書いて読み合う方法です。多少時間がかかりますが、正確です。六、道路を歩くとき、背後からの音がきこえない。病気のとき、病院の急用などで、電話が使えない。このようなときには、耳の不自由な人は一番困っているのです。全国社会福祉協議会発行の「体の不自由な人びとの福祉」を参考にしてください。

### 成 育 来年も元気で心のふれあう敬老会



成育社会福祉協議会は、地域住民の皆さんとともにお年寄りや子供たちへの思いやり、心のふれあう住まいづくりをめざして取り組んでいます。

この目的に向かって活動する中、恒例の敬老会を九月十五日、成育小学校講堂で、満六十九歳以上の招待者七五〇名の内、三七一名の出席を得て、会場超満員となりました。

第一部式典は、九十歳以上の方、金婚夫婦ひとり一人を紹介し、記念品を来賓の南城東区長とともに贈呈しました。

続いて、来賓より「皆さんの努力で戦後の繁栄が築かれました……今後も健康に留意され、いつまでも長生きして下さい」とお祝いのことばがあり、招待者を代表して橋本義雄第六和楽会長の謝辞で式典を終えました。

第二部演奏は、食事をとりながら、有志のかくし芸を観賞して、全員総当りの福引抽せん会まで、時間のたつのを忘れるぐらい楽しく過ごしました。

最後に、「来年も元氣な顔を見せる」約束をして、閉会となりました。

その他の活動状況

□子供会

#### 小学生を対象にした子供会は、各町会単位で育成指導にあたり、運動会やハイキング、野外勉強、球技会などの行事活動をおこなっています。

年末は、特に火災や犯罪が多く発生する時期であり、地域をあげて警戒力を入れています。

【青少年健全育成】

青少年を非行から守るべく防犯部では、夜の校下巡回補導に取り組みしています。

【成育社会福祉基金】

毎年、十二月、満八十五歳以上の方全員に福祉基金運営会より、長寿のお祝いを贈っています。

### 並社協活動 順調な歩み

九月十五日、復並小学校講堂で、復並社会福祉協議会と復並連合町会主催のもっと、敬老会を開催しました。

当日、式典の後、芸能人を招き、漫才、曲芸、浪曲等で楽しんでもらい、盛況裡に終了しました。

また、六十五歳以上の老人(一四〇〇名)に、記念品を、寝たきり老人には、家庭訪問をして見舞品を手渡しました。

青少年指導員会は、校下の中学生に呼びかけてチー

#### 目 地域ぐるみで少年非行防止活動

最近の少年非行は、複雑な世相を背景にして増加の一途をたどり内容においても悪質多様化の傾向がみられるなど誠に憂うべき状況にあります。

今までは、各種団体は、それぞれの立場で活動を実施してきましたが、ひとつのまとまった地域社会を念頭において、各種団体が相互に密接な協力を図り、青少年に関する対策を地域住民の積極的な協力を得て総合的に実施することを目的として青少年健全育成連絡協議会を結成しました。

さらに、当地区は、城東警察署から、少年非行防止指定を受け、地域ぐるみで少年非行防止活動を展開してまいります。

皆さんの協力をお願いします。

#### 心配ごと 相談所だより

ひろく、住民の日常生活上の悩みや、問題を解決するために開いております。

どんなことでも心配なことがありましたら遠慮なく相談に来て下さい。

なお、相談は無料で、秘密を守ります。

○相談日 毎月、月・水・木・土

○場所 旧大和川(寝屋川)の北岸に位置する蒲生はやはりに由来するものと考えられます。

この付近各地にも産するが、当地の産は、色美しく尺長かったといわれています。

蒲生の名が使われるのは江戸時代に入ってからであり、以前は十六軒村と呼ばれていました。

この地に十六軒の地主がいたからであります。古来この地は、蒲穂の産地であり、地名もこれ

### シンボル歌 作成 「連帯感」と「親睦」を深める



昭和五十六年十月四日、放出地域社協のシンボル歌「放出音頭」の発表会が開催されました。

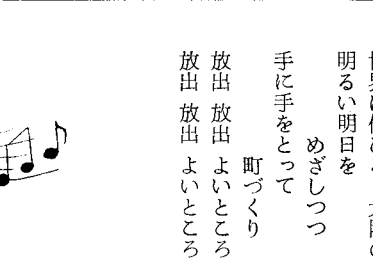
発表会には、放出小学校五・六年生の生徒、先生、PTA役員、連合婦人部、地域の皆さんが輪になり、歌って、踊ってなごやかに行なわれました。

「放出音頭」は、放出社協が、地域の連帯感と親睦

一、わたしの故郷 放出を  
生駒の山が 放出を  
知っている ヨイト  
阿運速雄の昔から 放出を  
樟の幹ほど受け継いだ 放出を  
牧場のひらり 放出を  
今いずこ 放出を  
放出 放出 よいところ  
放出 放出 よいところ  
放出 放出 よいところ

二、ぼくの故郷 放出を  
寝屋の流しが 放出を  
知っている ヨイト  
野崎詣りは 屋形船  
通った昔が 放出を  
しのばれる 放出を  
新田 井路川 今いずこ 放出を  
放出 放出 よいところ  
放出 放出 よいところ

三、あなたの故郷 放出を  
大阪城は 放出を  
知っている ヨイト  
片町レール 町開く  
心新たに 結びつき  
なにわの人情 放出を



善意銀行だより

七月一日号で報告以降の預託者は、次のとおりです。

松葉 幸夫様 三〇〇、〇〇〇円

菱川 節子様 三〇〇、〇〇〇円

加藤 浩司様 一〇〇、〇〇〇円

阪田 卯一様 三五〇、〇〇〇円

今福社会福祉協議会様 五〇、〇〇〇円

城東区民まつり実行委員会様 七、四八九円

若宮八幡大徳宮 地車巡行神楽会様 一〇、〇〇〇円

津田 雅人様 六〇、〇〇〇円

平井 政博様 一〇〇、〇〇〇円

永井 弘一様 五〇、〇〇〇円

旗持 哲佳様 五〇、〇〇〇円

青石 繁吉様 五、〇〇〇円

ありがとうございました。御意は、有意義に役立てていただきます。

共同募金

「赤い羽根」の共同募金運動は戦後の荒廃と混乱の中で民間社会福祉施設建設のため、国民の善意にもとづく「たすけあい」運動として昭和二十三年発足以来、輝かしい実績を重ねております。

さて、景気の停滞と深刻な財政危機により福祉の後退が憂慮される一方、住みよい町づくりを進めている民間社会福祉施設の財政基盤の増強が強く望まれています。

このとき、共同募金運動は、一層その趣旨の周知徹底をはかり、区民の積極的な参加のもとに強力に特色を發揮する必要があり、これにむけ年々、募金増強に向けて努力しております。

昨年、十二月十日現在で、一、三〇〇万円を突破しており、区民の皆さんから寄せいただいた募金は、各福祉施設に配分され、地域福祉活動の財源として役立つこととされています。

地域振興会(赤十字奉仕団)をはじめ、各種団体と協力して実施されました。

今年度で七回目を数える硬貨募金運動は、区民ひとりひとりの暖かい善意が、お年寄りの福祉増進に大きく寄与しています。

今年度の募金実績額は、四百九十三万円集まりました。

硬貨募金

この地に十六軒の地主がいたからであります。古来この地は、蒲穂の産地であり、地名もこれ

浦生の名が使われるのは江戸時代に入ってからであり、以前は十六軒村と呼ばれていました。

この地に十六軒の地主がいたからであります。古来この地は、蒲穂の産地であり、地名もこれ

浦生の名が使われるのは江戸時代に入ってからであり、以前は十六軒村と呼ばれていました。

地名の由来

浦生 (3)

この地に十六軒の地主がいたからであります。古来この地は、蒲穂の産地であり、地名もこれ

津田 修氏 (つだ・おさむ)

城東区社会福祉協議会広報紙編集委員

七月十六日、陽転転手術後腹膜炎にて死去。五十歳。

この付近各地にも産するが、当地の産は、色美しく尺長かったといわれています。

江戸時代の「五穀内産物函会」には、深江の「すげがさ」ともがさ、ともがさ、ともがさが名産品として紹介されています。

(城東区史より)

### 身体障害者の方は お気がるに相談を

身体障害者相談員は、身体障害者の皆さんの日常生活でのいろいろな相談から福祉制度に関する問い合わせ、福祉資金の貸付など、あらゆる相談をお受けしています。

相談事項は個人の秘密として守りますのでお気がるにご相談ください。

このたび新たに大阪市長より委嘱をうけられた相談員の方々はつぎのとおりです。

石岡 敏 浦生三一八一一〇 業資金、療養資金、入学資金、更生用具購入資金、住宅設備改造資金、自動車購入資金などがあります。

山根 秀夫 九三二一九五四一 業資金、療養資金、入学資金、更生用具購入資金、住宅設備改造資金、自動車購入資金などがあります。

鳴野東三二一四一三 入学金などがあります。

この浄財は、各地域社協に配分され、地区の福祉増進に大いに役立つこととされています。

○場 所 城東区役所一階 心配ごと相談室

○場 所 城東区役所一階 心配ごと相談室

金曜日、午後一時~四時

金曜日、午後一時~四時(受付三時まで、ただし人数制限あり)

